

NANTAN

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2017

No.

14



▲消防教室（朝来子育て学習センター）

災害状況



平成29年
10月20日現在

- ・火災… 17件
- ・救急… 2,512件
- ・救助… 55件

主な内容

特集 住宅用火災警報器に関する調査結果 … 2・3

- ◆ 養父市・朝来市一斉避難訓練
兵庫県消防防災航空隊との
合同山岳救助訓練
第46回消防救助技術近畿地区指導会 … 4
- ◆ 平成29年度防火ポスター入選発表 …… 5
- ◆ 消防写真館
消防白書・火災調査レポート …… 6・7
- ◆ お知らせ …… 8

住宅用火災警報器が大切な「命」「財産」を守ります！

- 寝室(子供部屋含)や寝室が2階以上にある場合は階段に必ず取り付けましょう。
- 設置しておよそ10年が交換の目安です。



住宅用火災警報器に関する調査結果



▲和田山町柳原区 消防教室の様子

消防本部では、住宅用火災警報器（以下、「住警器」という。）に関する市民の皆さんの意識と設置状況及び維持管理状況を把握するため、昨年度に続き養父・朝来の両市でアンケート調査を実施しました。

今回は両市内の居住者1,000人を対象に実施したところ、356人（35・6％）から回答があり、設置率は84・0％でした。設置率のほか、市民の皆さんが住警器に関してどのような意識を持っておられるかなど、今後の住警器の設置率向上、適正な維持管理や住宅防火対策の推進に役立てたいと考えています。

地域別住警器の設置状況

設置状況

住警器を「義務付けられている場所すべてに設置している」「すべてではないが、家に1個でも住警器を設置している」と答えた人は356人中299人（84・0％）でした。

（図1参照）

平成29年6月1日時点の全国の設置率81・7％と比べると約2.3ポイント上回っています。

また、「まだ設置していないが、今後設置しようと思っている」と答えた人が24人（6.7％）あり、既に設置している人を合わせれば、今後の設置率は90・7％を見込めます。

なお、地域別の設置率をみると、一番高かったのが生野の96・0％、次いで和田山の91・8％、以下、大屋が87・5％、朝来が86・5％、関宮が81・3％、山東が79・2％、養父が77・6％、八鹿が75・6％でした。

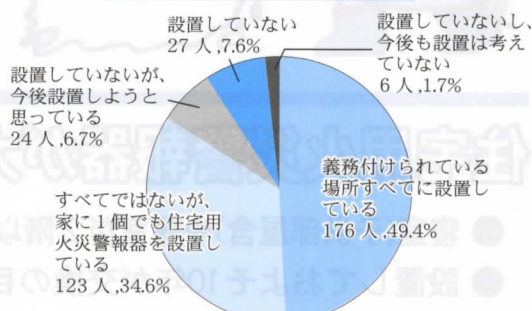
（表1参照）

一方、「設置していない」「設置していないし、今後も設置は考えていない」と答えた人は33人（9.3％）で、理由につ

表1 地域別設置数

区分	合計	八鹿	養父	大屋	関宮	生野	和田山	山東	朝来
回答数	356	82	58	16	16	25	98	24	37
設置している	299	62	45	14	13	24	90	19	32
設置していない	57	20	13	2	3	1	8	5	5
設置率	84.0	75.6	77.6	87.5	81.3	96.0	91.8	79.2	86.5

図1 住警器の設置状況

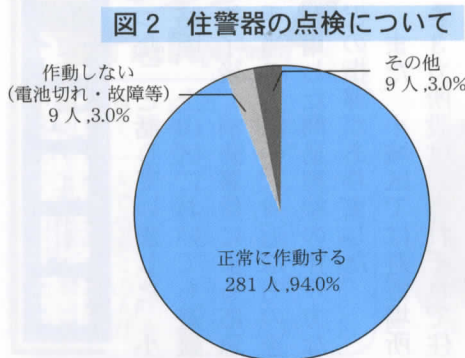


いて尋ねると、「設置効果がわからないので」「値段が高いので」「設置が義務化されていることを知らなかった」「借家・賃貸のため自分で設置できない」などの回答でした。

まず寝室に設置を

次に住警器の設置場所について、『火災予防条例では原則として寝室に設置し、寝室が2階以上にある場合は階段上部にも煙式の警報器を設置することとなっていますが、ご存知ですか』と尋ねると、「よく知っている」は156人(43・8%)でした。また、「だいたい知っている」は147人(41・3%)で、条例で定められた設置場所については多くの人が理解されているようです。

しかし、既に設置されている場所について尋ねたところ、「義務付けられている場所すべてに設置している」が176人(49・4%)で、条例で定められている場所に設置されている方は、全体の約半数という結果でした。

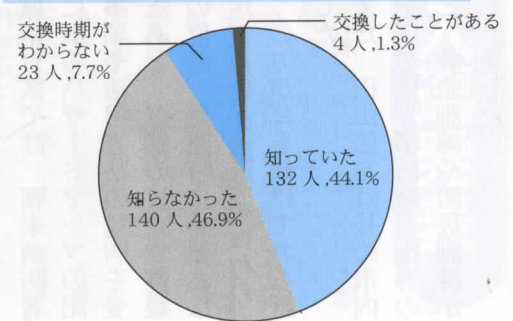


住警器の維持管理

ためにも、条例の規定どおり寝室や階段上部への設置を強く呼びかけたいと思います。

住警器は火災のときにきちんと作動するように点検ボタンを押したり引きひもを引いたりして、警報音がしっかりと鳴るかどうかが点検することが大事です。住警器を設置されている方に「警報音がなるか今確認してください。その結果はどうでしたか。」と尋ねると、「正常に作動する」が281人(94・0%)、「作動しない(電池切れ・故障等)」が9人(3・0%)、「その他」が9人(3・0%)という結果でした。(図2参照)

図3 電池寿命や本体の交換について



続いて、住警器は古くなる電子部品の劣化などで、火災を感じしなくなることがあります。そのため、『各メーカーは電池寿命の目安である10年で本体の交換も推奨しています』がご存知でしたか」と尋ねると、「知っていた」が132人(44・1%)、「知らなかった」が140人(46・9%)、「交換時期がわからない」が23人(7・7%)、「交換したことがある」が4人(1・3%)という結果でした。

住警器が常に正常に作動するためには、日頃から適切な維持管理に努めていただくこ

とが必要です。電池切れ・本体の交換についても市民の皆さんに十分な広報を行いたいと考えています。

住警器の奏功事例

住警器の普及が進み、全国で『住警器を設置していたため大事に至らずに済んだ』といった情報が報告されています。その情報を市民の皆さんに知っていただくことが設置率の向上及び条例の規定どおり設置していただくことに結び付くと考え、今回の調査で寄せられた例を紹介します。

『○台所で鍋をガスにかけたまま忘れていた。火災警報器が鳴り、気付いた時には鍋の中の料理が焦げていた。』

『○近所ではやががあったが、近所を歩いていた住民が火災警報器の音に気付き、初期消火を行ったことで、大惨事にはならなかった。』

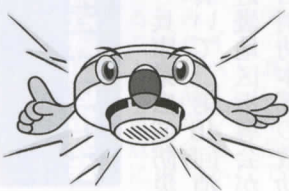
『○このような事例がありました。』

また今年は、南但消防本部管内で、家人がガスコンロにかけた鍋で煮物を調理中、ガスをつけたまま外出してしまい、鍋が空焚き状態になって

しまったが、台所に設置された住警器が作動し、大阪ガスの火災通報システムに移報されたおかげで、大事に至らなかったという事例もあり、住警器の大切さがよくわかります。

安全・安心な街づくりに向けて

全国で、平成28年中に住宅火災で亡くなった方(放火自殺者等を除く)は885人でした。大切な生命を火災から守るために、消防本部では今回の調査結果を踏まえ、住警器の普及啓発をより一層推進すると共に、適正な維持管理についても情報提供を続けていきます。そのためには、消防団や関係機関の協力を得て、市民の皆さんと直接対話する場に積極的に出向いて消防教室を行っていきます。そして、安全・安心な街づくりに努めていきたいと考えます。



養父市・朝来市一斉避難訓練

9月3日、養父市・朝来市で一斉避難訓練が行われました。

養父市は午前10時、市内全域に流された避難勧告の緊急速報メールを合図に、一斉避難訓練を開始しました。馬瀬区では、住民が自宅からの避難経路を確認しながら、避難場所に指定された馬瀬交流センターに約100人が続々と集まりました。到着順に点呼を取り、住民全員の安否確認を行いました。その後、養父消防署員による自動体外式除細動器（AED）の取扱いと心肺蘇生法の講習が行われました。胸骨圧迫に挑戦した小学生は、思っていたより難しかったようで「いい勉強になりました。」

つた」と話していました。小路頃、上山区においても避難終了後、消防署員による応急手当の方法や、身近なものを利用した簡易担架の作り方などの指導がありました。

また、小城区では避難場所を3カ所設け、それぞれで住民の安否確認をしたあと、要援護者の搬送、地元消防団の指導による消火器取扱い訓練や、女性消防団員による消火栓の取扱い方法の説明が行われました。

これら4地区以外でも、消防署が事前に貸出していた防災・防火DVDの視聴や、訓練人形を使った救急訓練など、多くの地区で自主的な取り組みがみられました。



▲救命処置を学ぶ小学生(馬瀬区)



▲簡易担架の作り方(上山区)



▲消火訓練の様子(三保区)

朝来市では、豪雨により市内全域で土砂災害や河川の氾濫の危険性が高まり、市が全域に避難指示を発令したとの想定で避難訓練を行いました。

三保区では避難訓練の後、天ぷら油火災実験と消火器による消火訓練を行いました。天ぷら油火災実験では、燃えあがる炎の大きさと熱さにみなさん驚かされていました。

城南台区では、朝来消防署員によるハザードマップの記載事項や活用方法の説明を受けたあと、避難の目安や避難所の位置、避難時に必要となる注意点等の講話が行われ、多くの方が耳を傾けておられました。

また、円山区をはじめ市内7地区では、消防署員指導のもと、救急訓練や防災訓練が行われました。

兵庫県消防防災航空隊との合同山岳救助訓練

8月25日、朝来市和田山町竹田、竹田城跡登山道において、兵庫県消防防災航空隊と合同の山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、竹田城跡へ通じる登山道で登山者が滑落したと想定し、救助隊が要救助者を救出、その後、防災ヘリが要救助者を吊り揚げ、救急車の待機場所としていた山城の郷まで搬送を行い、各隊の連携を確認しました。

山中の救助活動は、救出や搬送に時間を要しますが、兵庫県消防防災航空隊と連携することにより、時間短縮が可能になります。

消防本部では、このような訓練を重ね、安全安心に務めています。



▲防災ヘリによる救出の様子

第46回 消防救助技術近畿地区指導会

7月22日、兵庫県広域防災センターに於いて、第46回消防救助技術近畿地区指導会が開催され、当消防本部の救助隊員11名が、3種目に出場しました。この訓練は、安全確実性に加えて所要時間を競い、各種目兵庫県下・大阪府下の1位となった隊員が全国大会に出場出来るものです。

救助隊員にとって全国大会出場は大きな目標であり、大変な名誉です。今年度は全国大会へ出場出来ませんでしたが一層訓練を重ね、全国大会出場を目指します。



▶出場した救助隊員



最優秀賞

【中学校の部】

椿野 彩葉

朝来中学校1年

【小学校の部】

西垣 颯飛

養父小学校4年



平成29年度 防火ポスター入選発表

「火の用心の標語から拍子木が思い浮かびました。私たちの街が火事で燃えないように拍子木で囲み、火事になってもすぐに消せる消火器具をまわりに描きました。」
私の描いたポスターを見て、一人でも多くの人が標語のように防火意識を高めてくれればと思います。」



「ぼくは、少年野球をしています。野球が大好きです。絶対に火事を起こしてはいけないという思いを野球のボールにこめてかきました。火事は一人ひとりが気をつければ防ぐことができると思うので、一人でも多くの人にこいたらいいなと思います。」

特別賞

◆養父市消防団長賞

羽瀧 祐斗

大屋中学校2年

◆朝来市消防団長賞

伊藤 真菜子

養父小学校6年

◆南但危険物安全協会長賞

三浦 双葉

和田山中学校1年

小学校の部

◆優秀賞

10名

藤本 希愛 (枚田 1年)
高森 小春 (養父 2年)
森本 真央 (八鹿 3年)
宇都良美聡 (広谷 3年)
加芝 美和 (八鹿 4年)

中学校の部

◆優秀賞

5名

阿野 樹 (和田山 1年)
山根 梓乃 (梁瀬 2年)
足立 響 (生野 3年)
桑田 祥太郎 (生野 3年)
秋山 遥海 (朝来 3年)
衣川 春香 (和田山 1年)
太田 結依 (和田山 1年)
長野 里咲 (和田山 1年)

入賞

18名

大田 悠真 (竹田 4年)
福山 心寧 (糸井 5年)
北垣 飛翔 (山口 5年)
安保 真彩 (竹田 6年)
津島 すみれ (中川 6年)
田中 はな (八鹿 1年)
村上 瑠夏 (高柳 2年)
和田 朱莉 (大屋 2年)
石田 侑大 (糸井 3年)
小林 侑生 (枚田 3年)
吉井 柑那 (糸井 4年)
足立 真翔 (枚田 4年)
高階 未久 (竹田 4年)
細井 暁生 (梁瀬 4年)
佐野 裕哉 (中川 4年)
勢溜 萌依 (枚田 5年)
吉井 さや (東河 5年)
田中 友 (梁瀬 5年)
甲斐 敬乙 (山口 5年)
稲垣 希香 (八鹿 6年)
小島 爽良 (高柳 6年)
藤原 結菜 (広谷 6年)
芦田 烈生 (中川 6年)

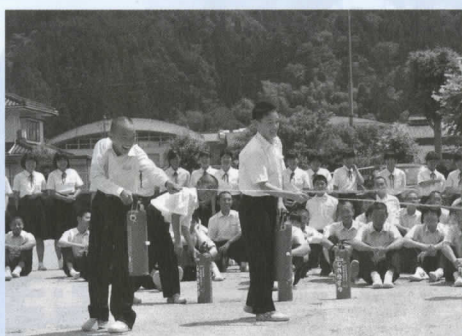
審査員所感

今年の防火ポスター応募点数は1,126点でした。昨年より僅かながら減少しましたが、応募された作品は、例年に劣らず力作が数多く見られました。審査会では、優秀なものを見逃すまいと、慎重に審査を行いました。西垣さんの作品は、ボールを投球や打撃で火を消す様子が勢よく表現されており、野球少年らしい力強さを感じました。また、文字の色を一文ずつ変化させ、美しく見せるような工夫が見られました。椿野さんの作品は、消火器や警報器など生活の中で火災予防に欠かせないものが丁寧に描き込まれており、防火意識を強く感じました。構図や配色もデザイン性に優れ、完成度の高い作品でした。全体的に、イメージ豊かな表現を試みた作品が多く見られました。また、防火を呼びかけることを重点に置いて制作された跡が見え、好感が持てました。

養父市立養父中学校

福田 綾郁

消防写真館



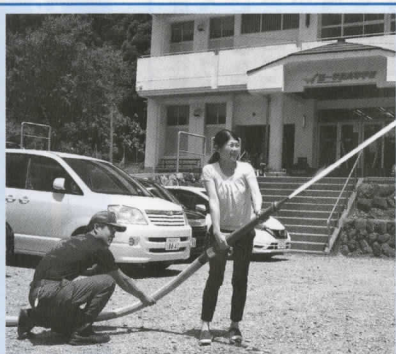
消防訓練 (7月14日 大屋中学校)

避難訓練後に、訓練用の消火器を使用し、取扱い訓練が行われました。皆さん、素早く放水をされ、的を的確に倒していました。



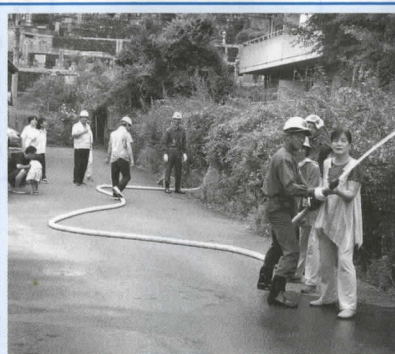
避難訓練 (7月21日 あわが保育園)

園内での火災を想定した避難訓練が行われました。園児の皆さんは、先生の指示に従ってハンカチで口や鼻をおさえながら避難していました。



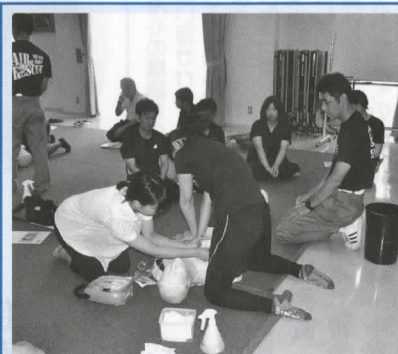
消防訓練 (7月21日 第一学院高等学校)

避難訓練後、職員の方を対象に消火栓を使用した放水訓練が行われました。放水時、後方への力が予想以上に掛かり、驚かれていました。



消防訓練 (7月23日 広谷区)

地元消防団の指導の下、消火栓を使用した放水訓練が行われました。皆さん、積極的に訓練に取り組み、操作方法を学ばれていました。



普通救命講習 (7月31日 朝来消防署)

朝来市内に勤務されている教員の皆さんが、普通救命講習を受けられました。もしもの時に備え熱心に取り組まれました。

救急

※昨年に引き続き件数増加

救急件数は2,355件、搬送人員は2,119人で、前年と比較すると件数は15件増加し、搬送人員は47人減少しています。

種別	署別	総数	朝来署	養父署
総数		16 (26)	8 (17)	8 (9)
建物		11	5	6
林野		1	1	0
車両		0	0	0
その他		4	2	2

()内は前年同期件数

火災

※総件数は減少、建物火災は増加

火災件数は両市合わせて16件で、前年と比較すると10件減少しています。建物火災は11件となっており、昨年と比較すると5件増加しています。

消防白書

平成29年
1月～9月

救助

※昨年より救助件数は増加

救助件数は48件で、前年と比較すると6件増加しています。その内23件で救助活動を行い、25人を救助しています。

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		48 (42)	21 (20)	26 (22)	1 (0)
交通事故		26	12	13	1
機械		0	0	0	0
水難		5	4	1	0
その他		17	5	12	0

()内は前年同期件数

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		2,355 (2,340)	1,230 (1,117)	1,121 (1,160)	4 (0)
急病		1,382	769	613	0
交通事故		157	98	56	3
一般負傷		388	181	206	1
その他		428	182	246	0

()内は前年同期件数



消防教室 (9月10日 和田山緑ヶ丘区)

消火栓を使用し、放水訓練が行われました。住民の皆さんでホースの延長、消火栓の操作、放水までの流れを協力して取り組まれました。



通報訓練 (8月31日 和田山税務署)

職員の方が、税務署内の加入電話を使用し、119番通報をする訓練が行われました。通信指令員からの質問に対して、的確に答えられていました。



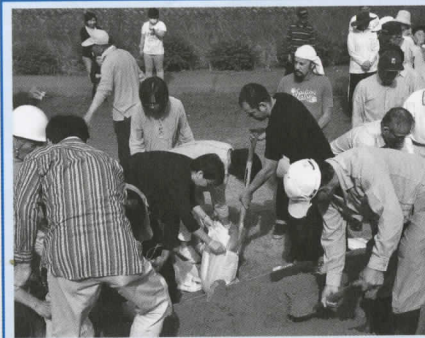
消防訓練 (8月2日 但南建設)

職員の方を対象に消火器取扱い訓練が行われました。①安全ピンを抜く②ホースを外す③レバーを握るの順で確実に操作されていました。



庁舎見学 (10月5日 朝来消防署)

山東子育て学習センターの皆さんが、消防車両の体験乗車を行いました。はしご車のバケットに実際に乗り、子供達は大変嬉しそうにしていました。



消防教室 (9月24日 柳原区)

河川氾濫等を想定した水防の訓練が行われました。一人一袋ずつ土嚢を作った後、隣保ごとに分かれて土嚢袋を積み上げる訓練が行われました。



消防訓練 (9月22日 八鹿病院看護学校)

粉末消火器を使用し、実際に消火する訓練が行われました。大きく燃え上がる炎に驚かれた様子でしたが、素早く消火されていました。

- ・寒い時期を迎え、ストーブやファンヒーターなどの暖房器具を使用する機会が増えてきました。この時期に多い火災原因が暖房器具によるもので、間違った使い方や、ちよつとした不注意で多くの火災が発生しています。
- ・例えば、「ストーブの上に干していた洗濯物が落下した」「電気ストーブのスィッチを入れたまま就寝し、寝返り等の際に布団が接触した」「石油ストーブに給油中引火した」等が原因で火災が発生しています。
- ・これらの原因となる火災を防ぐ注意点について紹介します。
- ・ストーブ等の近くに燃えやすい物を置かない。
- ・ストーブの上に洗濯物を干さない。
- ・スプレー缶を近くに置かない。



寒い季節に暖房器具は欠かせないので、今一度、暖房器具の正しい取扱いを確認し火災を起こさないように注意して下さい。

- ・給油する時は必ず火を消す。
- ・石油ストーブ等のカートリッジタンクの口金は確実に閉まった事を確認してからセットする。
- ・就寝前や外出する時には必ず火を消す。

火災調査レポート 暖房器具による火災に注意

お知らせ

◆新入職員紹介

4月に新しく2名の職員を採用しました。2名とも、三木市の兵庫県消防学校で半年間の研修を修了し、帰任しました。



(右側) 高本
(左側) 阪本

期待に応えられるよう頑張っていくます。
高本 慎也

南但消防本部2人目の女性消防職員として採用されました。救急救命士の資格を活かし、様々な現場に対応できる消防士を目指します。これから多くの訓練と経験を積み、市民の皆様を守るよう頑張っていくます。
阪本 和稀

◆FAX119について

消防本部では、電話で通報することが困難な聴覚障害や言語障害の方の緊急通報手段として、FAXによる119番通報に対応しています。この119番FAXは、受診後、通信指令員から「1

19番FAX通報受信確認書」を通報者の方に送信し、救急車や消防車を出動させるシステムになっています。

なお、このシステムは養父市、朝来市の社会福祉課と連携して行っています。利用にあたっては事前に登録が必要です。各社会福祉課又は消防本部にお問い合わせください。



119番専用FAX

◆秋の火災予防運動

火の用心
ことばを形に
習慣に

11月9日～11月15日

主な行事予定

- 一日消防官 こども園訪問
- 消防訓練 広谷・和田山・山東
- 立入検査等 旅館・危険物施設の査察
- 消防教室 学校・事業所・各地区
- 広報活動 防火ポスターの配布
- 防火研修 市内の旅館・ホテル



◆危険物取扱者試験

●試験日

平成30年2月4日(日)

●受付期間(書面申請)

平成29年12月1日(金)

12月13日(水)

●試験の種別

甲種、乙種、丙種

●願書

朝来消防署、養父消防署、生野出張所、大屋出張所で配布します。

編集手帳

両市内の1,000人の方を対象に住宅用火災警報器のアンケートを実施しました。回答率が約36%と昨年より低く、関心が薄れている表れではと懸念します。

また、台所への設置率は高いのに、依然として寝室や就寝する居室に設置していないとの回答が目につきました。「就寝中の逃げ遅れによる焼死を防ぐ」という設置目的を再確認頂きたいと思っています。

今年も9月末で半年間の消防学校での基礎教育を終えて、2名の新人消防士が実務についています。必死で訓練に励んでいる姿が職場に良い刺激を与えてくれています。

この時期、先輩職員にとつては彼らの初々しい姿をほほえましく感じるとともに、我が身を振り返り、襟を正す時期でもあります。彼らに見習ってもらえる背中を見せるために、そして市民の皆様から信頼していただくために。

ゴローくん



キョロキョロ...

ありや？
わしのヘルメット
どこ行ったのや？

隊長、もしかして...あれですか？



ヒソヒソ

ん？

隊長！
今度の忘年会、
これでいきましょー！



※ゴローくんです

バカヤロウッ！

あっ！



ガンッ

バシッ

NANTAN

119だより

NANTAN 119だより第14号

2017年11月1日発行 (年3回発行)

■発行・編集

南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町枚田436-1

■TEL 079-672-0119

■FAX 079-672-5046

南但消防本部

